

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公表番号】特表2003-519484(P2003-519484A)
 【公表日】平成15年6月24日(2003.6.24)
 【出願番号】特願2001-551179(P2001-551179)
 【国際特許分類】
 C 1 2 N 1/16 (2006.01)
 【F I】
 C 1 2 N 1/16 D

【手続補正書】
 【提出日】平成20年1月4日(2008.1.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

醗酵培地中で醗酵を実施すること、および
 ジカルボン酸を含有する当該醗酵培地に、ジカルボン酸粒子形状の形成を生じさせるため
 に、ジカルボン酸粒子形状形成有効量の脂肪物質を添加することによって、当該ジカルボ
 ン酸を含有する醗酵培地のレオロジー特性を変更すること
 を含み、
 前記形状は実質的にディスク形、実質的に一部球形および実質的に球形からなる群から選
 択される、醗酵方法。

【請求項 2】

前記粒子が約 15 μm 以上の直径を有する、請求項 1 に記載のジカルボン酸を含む醗酵
 培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項 3】

前記ジカルボン酸粒子の直径が約 15 μm ~ 約 1 cm である、請求項 2 に記載のジカル
 ボン酸を含む醗酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項 4】

前記実質的にディスク形または実質的に一部球形のジカルボン酸粒子の厚さが約 1 μm
 ~ 約 5 μm である、請求項 1 に記載のジカルボン酸を含む醗酵培地のレオロジー特性の変
 更方法。

【請求項 5】

さらに前記醗酵培地の温度を約 50 以下に維持することを含む、請求項 1 に記載のジ
 カルボン酸を含む醗酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項 6】

前記脂肪物質が脂肪酸である、請求項 1 に記載のジカルボン酸を含む醗酵培地のレオロ
 ジー特性の変更方法。

【請求項 7】

前記脂肪物質が脂肪酸エステルである、請求項 1 に記載のジカルボン酸を含む醗酵培地
 のレオロジー特性の変更方法。

【請求項 8】

前記脂肪酸エステルがメチルエステルである、請求項 7 に記載のジカルボン酸を含む醗
 酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項 9】

前記ジカルボン酸の質量に基づいて約 10 ppm 以上の量の前記脂肪物質が添加される、請求項 1 に記載のジカルボン酸を含む醗酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項 10】

前記量が前記ジカルボン酸の質量に基づいて約 10 ppm ～ 約 5 % の範囲である、請求項 9 に記載のジカルボン酸を量含む醗酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項 11】

前記量が前記ジカルボン酸の質量に基づいて約 50 ppm ～ 約 1 % の範囲である、請求項 10 に記載のジカルボン酸を含む醗酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項 12】

前記脂肪物質が脂肪酸と脂肪酸エステルの組み合わせである、請求項 1 に記載のジカルボン酸を含む醗酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項 13】

前記脂肪酸エステルがメチルエステルである、請求項 12 に記載のジカルボン酸を含む醗酵培地のレオロジー特性の変更方法。

【請求項 14】

前記発酵培地が、

- (a) 代謝転換可能な炭素およびエネルギー源；
- (b) 無機窒素源；
- (c) リン酸塩源；
- (d) アルカリ金属、アルカリ土金属、遷移金属、およびそれらの混合物から成る群から選択される少なくとも 1 つの金属；および
- (e) 微粒子物質および細菌を実質的に含まないビオチン源；を含む、請求項 1 に記載のジカルボン酸を含む醗酵培地のレオロジー特性の変更方法。